

大きな森になあれ どんぐり・竹ポット 引き渡し式



▲竹ポットに苗を植える小学生。将来大きな森になることでしょう

雲南市木次町の尾原ダム建設予定地で十一月二十八日、斐伊川の上下流域一体となつて、どんぐりの森づくりを進めようと、どんぐり・竹ポット引き渡し式が行われました。

上流域の奥出雲町、雲南市の小学生からはどんぐりが、下流域の松江市、出雲市の小学生からは竹ポットが実行委員会に引き渡され、引き続きこれを使い苗づくりが行われました。

この日参加した二百十八人の児童は「大きな森になあ

れ」と心を込めて苗づくりを行い、約一時間後には、八百個の竹ポット入りの苗が出来上がりました。

尾原ダム建設事業は「県政百年の大計」と言われ、立ち退きにより移転される方、地権者など多くの方のご理解とご協力により進められ、今年からは本体工事も着手されており、平成二十二年に完成の予定です。

この日児童たちが植えたどんぐりは関連道路の法面に植樹される予定で、今後大切に育成されます。

育てよう人権意識

第五十八回人権週間

十二月四日から十日までの人権週間に合わせ、町内では松江地方法務局雲南支局、町の六人の人権擁護委員の方と協力し、様々な啓発活動を行いました。

今年夏のインターハイで全国制覇を果たした前男子ホッケー部キャプテンの尾崎孝明君を一日人権擁護委員に委嘱し、町内の事業所への啓発訪問、ショッピングセンターでの街頭啓発等を行いました。

「女性、子どもの人権を守ろう」、「外国人の人権を尊重しよう」など強調事項が記された啓発パンフレットや特産品の「椎茸」を配り、人権意識の普及と高揚を呼びかけました。

委員の皆さんの熱心な呼び

かけに多くの方は足を止め、人権の大切さを再認識していただきました。

私たちは人権問題を自分自



▲街頭啓発の様子

身の問題として考え、人権が尊重され差別や偏見のない明るい社会の実現を目指していきましよう。

奥出雲町チーム 第1回中国地区各県選抜ゲートボール大会で見事優勝

11月29日、30日の両日、山口県山口市のきららドームで開催された第1回中国地区各県選抜ゲートボール大会において、島根県代表として出場した奥出雲町チームが優勝を果たしました。

仁多、横田両地域から選抜された奥出雲町チームは、一丸となって大会に臨み、28チームが参加した中で唯一全勝し、この大会の初代王者に輝きました。

この大会で中国地方に「奥出雲町」の名を轟かせてくれました。おめでとうございます。

